

科目名	診察学応用 3						年度	2026	
英語科目名	Applied Consultation and Examination 3						学期	前期	
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	笠井友和	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 四肢の変形症状、脳神経障害の症状、髄膜刺激症状、運動機能検査、運動失調検査を理解する。									
【科目の概要】 四肢の変形症状、脳神経障害の症状、髄膜刺激症状、運動機能検査、運動失調検査を理解し診察に用いることが出来るようにする。四肢の変形症状、脳神経障害の症状、髄膜刺激症状、運動機能検査、運動失調検査の国家試験合格レベルを確認する。									
【到達目標】 A. 四肢の変形症状を理解し診察に用いることが出来るようにする。 B. 脳神経障害の症状を理解し診察に用いることが出来るようにする。 C. 髄膜刺激症状を理解し診察に用いることが出来るようにする。 D. 運動機能検査を理解し診察に用いることが出来るようにする。 E. 運動失調検査を理解し診察に用いることが出来るようにする。									
【授業の注意点】 「臨床医学総論」の教科書に則って授業を進行するが、生理学・解剖学・臨床医学各論などの履修済の学習内容が必要となるので復習確認を怠らぬようにすること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	四肢の変形症状を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	四肢の変形症状の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	四肢の変形症状の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察に用いることが出来る	四肢の変形症状の理論的な理解は不十分だが大部分を記憶し診察に用いることが出来る	四肢の変形症状の理論的理解も記憶も不十分で診察に用いることが出来ない				
到達目標 B	脳神経障害の症状を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	脳神経障害の症状の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	脳神経障害の症状の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察に用いることが出来る	脳神経障害の症状の理論的な理解は不十分だが大部分を記憶し診察に用いることが出来る	脳神経障害の症状の理論的理解も記憶も不十分で診察に用いることが出来ない				
到達目標 C	髄膜刺激症状を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	髄膜刺激症状の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察に用いることが出来る	髄膜刺激症状の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察に用いることが出来る	髄膜刺激症状の理論的な理解は不十分だが大部分を記憶し診察に用いることが出来る	髄膜刺激症状の理論的理解も記憶も不十分で診察に用いることが出来ない				
到達目標 D	運動機能検査を理解し、診察に用いて正しい病態把握が出来る	運動機能検査の大部分を理解し、診察に用いて概ねの病態把握が出来る	運動機能検査の大部分を理解し、診察に用いて病態把握の方向性が見られる	運動機能検査の一部を理解し、診察に用いて概ねの病態把握の方向性が見られる	運動機能検査を充分理解しておらず、診察に用いることが出来ない				
到達目標 E	運動失調検査を理解し、診察に用いて正しい病態把握が出来る	運動失調検査の大部分を理解し、診察に用いて概ねの病態把握が出来る	運動失調検査の大部分を理解し、診察に用いて病態把握の方向性が見られる	運動失調検査の一部を理解し、診察に用いて概ねの病態把握の方向性が見られる	運動失調検査を充分理解しておらず、診察に用いることが出来ない				
【教科書】 臨床医学総論 東洋療法学校協会編、自作プリント									
【参考資料】 臨床医学各論 東洋療法学校協会編									
【成績の評価方法・評価基準】 学期末定期テスト(90%)、授業内小テスト(10%)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		診察学応用3			年度	2026
英語表記		Applied Consultation and Examination 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	四肢の変形	上肢の変形、下肢の変形	1 上肢の変形	上肢の変形の種類、形状、原因を理解する	1	
			2 下肢の変形	下肢の変形の種類、形状、原因を理解する		
			3 四肢の変形の国家試験問題	四肢の変形の国家試験問題レベルを確認する		
2	疾患部位別感覚障害、感覚・反射の復習1	疾患部位別感覚障害、感覚・反射の復習1	1 感覚・反射の復習	履修済みの感覚・反射の要点を再確認する	3	
			2 感覚・反射の分類の国家試験問題	感覚・反射の分類の国家試験問題レベルを確認する		
			3 疾患部位別感覚障害	疾患部位別感覚障害の種類、性状、原因を理解する		
3	感覚・反射の復習2、脳神経1	感覚・反射の復習2、脳神経の復習	1 反射弓の国家試験問題	反射弓の国家試験問題レベルを確認する	3	
			2 脳神経の復習	履修済みの脳神経の要点を確認する		
			3 実際の脳神経構造確認	DVD映像を見て実際の脳神経構造を確認する		
4	脳神経2	嗅神経、視神経、動眼・滑車・外転神経1	1 嗅神経	嗅神経障害を理解する	1	
			2 視神経	視神経障害を理解する		
			3 動眼・滑車・外転神経1	動眼・滑車・外転神経障害を理解する		
5	脳神経3	動眼・滑車・外転神経2、三叉神経、顔面神経	1 動眼・滑車・外転神経2	外眼筋麻痺による眼球偏位を理解する	1	
			2 三叉神経	三叉神経障害を理解する		
			3 顔面神経	顔面神経障害を理解する		
6	脳神経4	内耳神経、舌咽・迷走神経1	1 内耳神経	内耳神経障害を理解する	2	
			2 舌咽・迷走神経1	履修済みの舌咽・迷走神経の働きを確認する		
7	脳神経5	舌咽・迷走神経2、副神経、舌下神経、脳神経関連の反射	1 舌咽・迷走神経2	舌咽・迷走神経障害を理解する	2	
			2 副神経・舌下神経	副神経・舌下神経障害を理解する		
			3 脳神経関連の反射	脳神経関連の反射障害を理解する		
8	髄膜刺激症状検査、運動機能検査1	髄膜刺激症状検査、運動機能検査の分類	1 髄膜刺激症状検査	髄膜刺激症状の原因と検査法を理解する	3	
			2 運動機能検査の分類	運動機能検査の分類を理解する		
			3 運動機能異常の確認	DVD映像を見て実際の運動機能異常を確認する		
9	運動機能検査2	正常運動システム、筋トーンの異常	1 正常運動システム	履修済みの正常な人体の運動システムを確認する	3	
			2 筋トーンの異常	筋トーンの異常を理解する		
10	運動機能検査3	筋萎縮、仮性肥大	1 筋萎縮	筋萎縮を理解する	3	
			2 仮性肥大	仮性肥大を理解する		
			3 国家試験問題1	運動機能検査の国家試験問題レベルを確認する		
11	運動機能検査4	不随意運動、まとめ1	1 不随意運動	不随意運動を理解する	3	
			2 まとめ1	運動機能検査をまとめて確認する		
12	運動機能検査5	まとめ2、原因疾患	1 まとめ2	運動機能検査をまとめて確認する	3	
			2 原因疾患	運動機能異常の原因疾患を理解する		
			3 国家試験問題2	運動機能検査の国家試験問題レベルを確認する		
13	運動失調	運動失調、運動失調検査	1 正常バランスシステム	履修済みの正常な人体のバランスシステムを確認する	3	
			2 運動失調	運動失調を理解する		
			3 運動失調検査	運動失調検査を理解する		
14	頭痛1	血管由来の頭痛、頭蓋外の原因による頭痛	1 血管由来の頭痛	血管由来の頭痛を理解する	4	
			2 頭蓋外の原因による頭痛	頭蓋外の原因による頭痛を理解する		
			3 頭痛症例の確認	DVD映像を見て実際の頭痛症例を確認する		
15	期末テスト解答・解説	期末テスト解答・解説	1 期末テスト解答	期末テストの解答をする	4	
			2 期末テスト解説	期末テストの解説をする		

評価方法：1. 小テスト①、2. 小テスト②、3. 確認テスト、4. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等